

研修会名：「基礎理学療法学 夏の学校」キックオフミーティング

日 時：2016年1月30日（土）13:00 ～ 1月31日（日）13:30

主 催：日本基礎理学療法士会

研修会 HP：

http://jspt.japanpt.or.jp/jsptf/info/kick-off_meeting.html

内 容：

現在、日本基礎理学療法学会において、本学会の「若手の研究者同士」や「シニア・若手研究者間」など、形にとらわれずに深い議論や情報交換ができる場として「基礎理学療法学 夏の学校」の開催を検討しています。このような企画は、若手研究者の研究活動の活性化を図るために様々な基礎系学会で実施されており、本学会においても次年度の夏（8月20・21日予定）からスタート予定です。そこで今回は、「基礎理学療法学 夏の学校」キックオフミーティングと題して、「1 シニアクラスの研究者および若手研究者の講演」と「2 研究情報交換会」との二階建ての構成で開催し、「基礎理学療法学 夏の学校」の礎を作ります。

第1部：特別講義，若手研究者講演①

第2部：情報交換会（ポスターセッション、懇親会）

第3部：若手研究者講演②

参加費：

第1部・第3部参加：3,000円（事前登録）／4,000円（当日登録）

第1～第3部参加：8,500円（事前登録のみ）

プログラム：

1月30日（土）

第1部

代表運営幹事挨拶：河上 敬介 先生（大分大学）

特別講演：大西 秀明 先生（新潟医療福祉大学）

「随意運動時および体性感覚刺激時における大脳皮質活動」

若手研究者講演1：野冨 一平 先生（名古屋大学）

「脳可塑性による運動の学習について」

若手研究者講演2：吉岡 潔志 先生（長崎大学大学院）

「不活動による骨格筋のメンテナンス」

第2部

情報交換会（ポスターセッション、懇親会）

1月31日（日）

第3部

若手研究者講演3：本田 祐一郎 先生（長崎大学医学部附属病院）

「筋性拘縮の病態と発生メカニズム」

若手研究者講演4：大鶴 直史 先生（広島大学）

「末梢刺激による痛覚関連情報処理の評価」

若手研究者講演5：中村 雅俊 先生（同志社大学）

「ストレッチングが筋の硬さに及ぼす影響」

若手研究者講演6：山口 智史 先生（慶應義塾大学）

「末梢感覚入力による中枢神経機構への統合的アプローチ」